

製品名: CKMT1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85090**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	CKMT1
別名	CKMT; CKMT1; UMTCK; CKMT1A
遺伝子 ID	1159.0
SwissProt ID	P12532
免疫原	大腸菌で発現した精製された組み換えヒト CKMT1 タンパク質断片。

背景

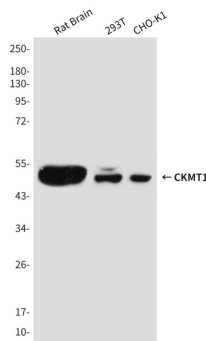
クレアチンキナーゼ MT は、ミトコンドリアから細胞質のキャリアであるクレアチンへの高エネルギーリン酸の輸送を担っています。

す。クレアチンキナーゼアイソザイムファミリーに属し、サルコメア型 MtCKとユビキタス型 MtCKという2つのアイソザイムがそれぞれ別々の遺伝子によってコードされています。クレアチンキナーゼ MTは、二量体と八量体という2つの異なるオリゴマー形態で存在し、細胞質型クレアチンキナーゼアイソザイムは二量体のみを形成します。予後不良な悪性腫瘍の多くでは、ユビキタス型ミトコンドリアクレアチンキナーゼの過剰発現が認められており、これはエネルギー代謝の亢進とアポトーシスによる癌細胞の排除不全に関連している可能性があります。普遍的なミトコンドリアクレアチンキナーゼは、サルコメアミトコンドリアクレアチンキナーゼのコーディングエクソンと 80% の相同性を持っています。

研究分野

-

画像データ



CKMT1 抗体を使用したラット脳、293T および CHO-K1 溶解物中の CKMT1 のウエスタンブロット分析。